



報道発表

2022年8月26日

Symbiobe 株式会社への追加投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP2 号ファンド」）は、京都大学発ベンチャー企業の Symbiobe 株式会社（本社：京都市西京区、代表取締役：後圭介）へ追加投資を実行いたしました。

○今回の投資の概要

Symbiobe は、京都大学大学院工学研究科材料化学専攻の沼田圭司教授の研究成果である海洋性光合成細菌を用いた CO₂・N₂ 固定及びバイオマテリアル等生産技術を基に、2021 年 1 月に設立された京都大学発ベンチャーです。Symbiobe はこれまでに、海洋性光合成細菌を基にしたタンパク質繊維（Air Silk）や水産養殖用飼料（Air Feed）、窒素肥料（Air Fertilizer）の試作に成功し、また海洋性光合成細菌培養デモプラントを建設しました。

持続可能な社会を目指す上で脱炭素社会の実現は喫緊の課題であり、世界各国が温室効果ガス削減目標と将来的なカーボンニュートラルを表明しています。日本でも 2030 年度に温室効果ガスを 2013 年度比 46%削減、2050 年にカーボンニュートラルを宣言しました。そのため脱炭素社会に関連した活動や技術開発が加速しています。この動向に対し、Symbiobe の海洋性光合成細菌は CO₂ と N₂ を吸収・固定化と、バイオマテリアルを生産できるという特徴により、カーボンニュートラルの実現に貢献できる技術と期待されます。

京都 iCAP は Symbiobe の海洋性光合成細菌による CO₂・N₂ 固定及びバイオマテリアル等の生産技術が脱炭素社会の実現に貢献することを期待し、第三者割当増資による 1 億円の追加投資を実行しました。今回の調達は総額 2 億円で、京都 iCAP の他に Beyond Next Ventures 株式会社が運営する投資事業有限責任組合が参加しています。Symbiobe は今回調達した資金を活用して、海洋性光合成細菌培養デモプラントにおける CO₂ 固定化の実証、バイオマテリアルの実用化に向けた開発を実施します。

Symbiobe 株式会社 概要

設立	2021 年 1 月
事業内容	光合成生物を用いた温室効果ガス固定及び産業用バイオマテリアル・農業用窒素肥料・水産養殖用飼料生産に関する研究開発及び製造・販売
本社所在地	京都市西京区
代表取締役	後 圭介（うしろ けいすけ）



○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。当社は現在、総額 160 億円のイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）（2016 年 1 月設立）と総額 180 億円の KYOTO-iCAP2 号ファンド（2021 年 1 月設立）を運営しています。KYOTO-iCAP 1 号ファンドの満期は最長 20 年、KYOTO-iCAP 2 号ファンドの満期は最長 17 年に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、KYOTO-iCAP 2 号ファンドでは、一部資金を京都大学以外の国立大学発ベンチャーに投資することとしています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp